

平成26年4月8日

保護者 様

熊本県立南稜高等学校
校長 池本 一正

段階的生徒指導の実施について（依頼）

このことについて、これまで本校で取り組んできた生徒指導をさらに充実するため、下記のとおり「プログレッシブディシプリン」の概念を一部導入した指導方法を実施します。

つきましては、この指導方法の趣旨や有効性等を御理解のうえ、生徒指導の成果があがりますよう、さらなる御協力、御指導のほどをお願いします。

なお、御不明な点や意見等につきましては、担当まで連絡くださいますよう、併せてお願いします。

記

1 趣旨

プログレッシブディシプリンとは、Progressive（進歩的な・モダンな・累積的な）とDiscipline（訓練・規律）を組み合わせた造語で、『段階的指導』や『累積的規則指導』という意味で使われている。この考え方のもとになったのは、『ゼロトレランス（寛容なき指導）』であり、その考え方をよりきめ細かく効果的にするための方式である

2 目的

この指導方法を導入する際の目的は、大きく分けて次の2つである。

- （１） 細かな変化を見逃さず、許さないという指導により、大きな問題行動を未然に防ぐ。
- （２） 基準を明確にし、段階に分けることで、「ぶれない指導」をおこなう。

3 開始期日 平成26年4月8日（火）～

4 周知方法 文書配布及び学校ホームページ掲載

5 指導方法 従来のおりの指導過程に、指導と違反内容の蓄積をする「指導票」を使用し、指導履歴を明確にした上で、違反の回数に応じて、指導のレベルを上げ反省の深化を図る。

6 問題行動に対する指導回数と指導段階

問題行動等	指導回数	指導段階
【遅刻指導】 ・校門指導等での遅刻 【頭髪服装違反】 ・整髪していない ・髪の色又は脱色 ・眉毛の加工 ・ピアス ・サイズや名前違い制服 【態度】 ・違反改善なし等	累積 1・2 回目	担任指導
	累積 3・4 回目	学級指導
	累積 5 回目	学科主任指導
	累積 6 回目	学年主任指導
	累積 7・8 回目	生徒部長指導
	累積 9 回目	保護者召喚、教頭指導
	累積 10 回目	保護者召喚、校長指導
	上記以上	特別指導の対象

※違反累積回数は、月単位ではなく、開始以来の累積とする。ただし、規定の違反回数になり指導を受けた後、30日間違反等がない場合には、0回にもどる。また、生徒指導部が指定する奉仕作業を行うと、1回回復できる。

※問題行動に対しては、その場で厳重に指導するとともに、必ず所定の記録用紙に氏名を記入する。

※今後、その他の学校生活場面についても、段階的指導を適用し、その改善を図っていく。

7 その他 【参考】「ゼロトレランス」の概念等

ゼロトレランスの本来の目的は、『善良な大多数の生徒の学習環境を守る』ということであり、理念・特徴・効果としては以下の3つがあげられる。

- (1) 善良ならば、合理的で適正の規則に関して苦痛を感じないはずなので、合理的な規則を整備しなければならない。
- (2) 規則違反行為に対して、必ず罰を受ける。それは自らの行動に責任を持つことであり自己責任をとる必要性を考えなければならない。
- (3) 善悪の判断を的確に教え、善に対する権威を尊重し、これに従順に従う態度を養成し、悪を憎み批判する態度を養う。

熊本県立南稜高等学校

担当：(生徒指導主事) 山崎圭三

TEL: 0966-45-1131

FAX: 0966-45-0466